

森林基幹道「竹ノ沢線」の紹介

静岡県 中部農林事務所 森林経営課

林道「竹ノ沢線」は静岡県の中北部に位置し、静岡市葵区上落合と静岡市葵区口坂本を結ぶ延長 20.7km、幅員 4.0m の森林基幹道です。

県営工事として平成 4 年度に工事着手し、20 年後の平成 24 年 8 月に完成しました。

利用区域 1,664ha 内の森林は、スギ・ヒノキの人工林が 83% で、377,402m³ の材積を有しており、森林施業の集約化や、高性能林業機械による木材の生産性の向上と、安定供給体制の構築を通じた持続可能な林業経営の基盤を担う林道として、期待されています。

当該地域の林内路網の根幹を成す林道として、また、主要地方道井川湖御幸線における災害時等の迂回路や森林レクリエーション施設である「県民の森」へのアクセス道としても重要な路線として活用されています。

一方で、開設後の年数が経過した区間では、法面の風化や路面の荒廃が進んでいることから、平成 25 年度より改築工事を実施して舗装や法面改良等を進めており、森林管理や木材運搬、森林レクリエーションにおける通行の安全性及び快適性の確保・向上を図っています。



舗装完成区間



林道・作業道を活用した搬出作業



位置図

